

「がんばる人 in OHTOSHI」のコーナーでは、地域でイキイキと活躍している人達をご紹介します！



今回は「大歳地区子ども会育成連絡協議会」略して「地子連」の田中友恵さんです。田中さんは代表になられて今年で2年目だそうです。



地子連会長の田中友恵さん

田中友恵さんのプロフィール
家族：6人
好きな言葉：「国家に対して何を望むかよりも、自分が国家に何を奉仕できるかを考えるべきである。」—ジョン・エフ・ケネディー

現在大歳地区には、7つの自治会に子ども会があるそうですが、その内「地子連」に参加しているのは、岩富、上矢原、中矢原、下矢原、上湯田下の5つの自治会だそうです。中でも「子ども会議」は、上記5つの「地子連」の子どもたちの代表が集まり、仲間と協力することを重視した活動を展開しているとのこと。

今後については、活動の輪を地域全体に広げ、関連団体と連携し合いながら文化活動にも挑戦したいそうです。そして、子どもたちに目標を与えて、社会との関わりを考えさせる人材育成にも力を入れたいと考えておられるそうです。



子ども会議 大歳地区花壇のパネル作成 10月31日 花いっぱいフェスパネル展示 まつりに向けた子ども会議 まつり当日

おとしかわの路 Information

■ チャレンジデー2016

今年の、「チャレンジデー」は、5月25日(水)に開催され、対戦相手は、神奈川県「座間市」です。

昨年は、「秋田市」と対戦し、参加3年目にして初勝利を勝ち取りました。

今年も、多くの皆様のご協力をお願いし、皆さんの健康向上をはかるとともに、2勝目を目指しましょう！

■ 広報委員を募集しています！

かわら版と一緒に作っていただける方をお待ちしています。

■ 交流センターの増改築工事が完了しました。

この度の増改築により、玄関スロープが拡大し、エレベーターの設置、施設のなかの段差が解消され、全館バリアフリーとなりました。2階にあった図書室も1階へ移り、明るい室内となっています。

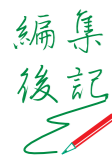
工事期間中は、地域の皆様にご迷惑をおかけいたしました。これからは、今まで以上に使いやすい施設となっていますので、多くの皆様のご来館ご利用をお待ちしています。



センター外観 エレベーター 図書室

行/事/予/定 5~7月

- 5月25日(水) チャレンジデー2016
- 5月29日(日) 大歳地区分館対抗ソフトボール大会【榎野川運動公園】
- 6月18日(土) おおとし防災の日関連イベント【大歳地域交流センター】
- 6月19日(日) 大歳地区分館対抗バレーボール大会【県スポーツ文化センター】
- 7月 3日(日) 大歳地区卓球大会【大歳小体育館】



熊本・大分両県で大きな地震が発生しました。最初の大きな地震のあと余震が続くものと思っておりましたが、この度は、家に帰って寝ているところに本震となる2回目の大きな地震が発生し、多くの方が亡くなりました。運命とはいえ残酷であり、大変残念なことです。地下の活断層の横滑りが原因とのことですが、我が大歳地域は大丈夫でしょうか。今はただ大地震のないことを祈るのみです。(堂迫)

まちづくり おおとし かわら版 2016.5 Vol.39

こどもの日 特集

子どもの夢を紡ぐ大歳に

大歳小の新旧PTA会長さん(金子俊浩さん、長尾敦司さん)と自治振興会の吉富会長に子どもの夢を紡ぐ大歳にするため、何が出来るかを語っていただきました。



司会(武波広報委員長) 昔に比べて、子どもが外で遊ぶ姿がみられなくなったり、交通事故への不安なども増え、子育ては本当に大変ななっています。それだけに、意識的に地域ぐるみで子育てをすすめる取り組みが必要になってきていると思いますが、PTAとして、特に留意してこられたことは、どんなことでしょうか。



武波義明(広報委員長)

金子(前会長) PTAは子どもを真ん中に先生と親が手を組んで、子どものためが



金子俊浩さん(大歳小前PTA会長)

世代というのは大変忙しい世代でもあって、あれもこれもとはなかなかできません。こどもの目線で考えて必要なことといえば、やっぱり子どもの安全確保を重点にした取り組みになっています。

司会 自治振興会でも、子ども部会や見守り隊などを中心に様々な取り組みをしてきましたが、どんな取り組みがあったのでしょうか。

吉富(自治振興会長) 自治振興会の中心メンバーは高齢者です。その意味では、後継者としての子育て世代に大いに期待していますし、PTAの方と話し合う機会をこれからも広げていきたいと考えています。

そうした中で、旧道を中心とした危険な通学路を何とかしたいと思いい、ゾーン30を設置したり、登下校時の立哨等に取り組んで



吉富滋浩(自治振興会長)

た。ただ、それから先、どうしたら良いのか正直迷っています。そこで、先ほど出た子どもの目線ではあるかと思っています。例えば、通学の途中で便意を催した時、子ども、特に低学年の子どもたちはどうするのだろうか。昔なら田んぼの隅や草むらですましたことが、住宅の並んだ現在では困難です。公衆トイレの設置などが必要だろうし、もっと手軽に「子ども110番」を掲げた家に駆け込んで、トイレを貸してもらえないものかなどと空想しています。子ども110番は子どもが困った時には相談にのりますということですが、そんな難しげな事ではなく、「子ども110番」が掲げられた家では安心してトイレを貸してもらえ方がずっと現実的で地域の力を実感できるのではないのでしょうか。



長尾敦司さん(大歳小新PTA会長)

1ページから続く

司会 地域がじじ・ばばの役割を果たしてくれる。
吉富会長 そういう温もりは確実に地域を変えていく力になると思うんですね。だから、高学年の子どもたちと様々な問題でワークショップを行って、子どもたちが困っていることや改善してほしいと思っていることを探り出していく。子どもの要望することは、大人の気づかないような小さいことだけ



▲「おおとし見守り隊」による登下校時の立哨

◀大歳橋にある「ゾーン30」の表示

いことだけど、地域が関わらなければ解決できないことが多いと思います。そういう関わり、先ほどのじじ

ばばの役割を地域がつくりだしていけば随分大歳の雰囲気も変わっていくのではないのでしょうか。
金子(前会長) 大賛成です。PTAでも子どもにとって危険な場所をリストアップするなど子どもの安全確保の取り組みをしてきましたが、親の目線での取り組みに終わって、登下校時に危険な箇所立って見守りましょうまではすんなり決まるが、その先どうするのかまでいかない。子どもの目線では大人が思いもよらないことで困っているかもしれないし、そんな話し合いの中で生まれる親の連帯感が、「忙しいから」ですまされてきた活動への参加を広げるかもしれませんね。

長尾(新会長) それと、大歳は新興住宅が増えていますので、子どもを中心とした地域づくりを進めることで、新しく越してきた皆さんにも地域に愛着をもってもらいやすくなるといいですね。自治振興会とPTAがしっかりタッグを組んでいきたいですね。



吉富会長 10人集まれば、10の課題が提起されます。話し合うだ



けで解決できる問題も結構多いのではないかと思いますね。それに子どもの発信はとても素直で、地域の理解も得やすいと思います。山口市は地域交付金という形で、かなりの額の活動費を支援する仕組みを作っています。ですから、地域の合意ができれば、子どものためにもっと予算をつけることは十分に可能です。ただ、そのための智慧が十分煮詰まっていなかったかきさを感じてきましたが、今日の話し合いで、大いに元気ができました。

司会 最後に新PTA会長さんの抱負をお伺いします。

長尾(新会長) 大歳地域は交通の利便性が良いし、買い物もしやすくとても住みやすい所だと思っています。実際、地域の人口が増加していますし、それに伴って大歳小の児童数が増加傾向にあるのはとても喜ばしいことです。

ただ、一方で、通学路の安全確保が更に重要になってきていますし、運動会の応援なども、スペースの関係からこれまでより制約が多くなるなど、新たな課題もたくさんあるのが実情です。今後ますます学校や地域と連携しながら、またPTAの皆さんにもご理解とご協力をいただきながら、ひとつひとつ課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

先ほどから吉富会長が、子育て世代であるPTAとのつながりをもっと持っていきたいとおっしゃっていただいているのは、とても心強くありがたいですね。

大歳らしさは「子育てのしやすさ」なんて素晴らしい特徴だと思いますし、子どもたちが元気でいきいきと育つ環境づくりは、地域全体の活性化にもつながると思います。それに向けて、わたしも微力ながら一杯頑張りたいと思います。

司会 どうも長時間ありがとうございました。



昨年のこども部主催の「海辺の教室」

■平成28年度「7.21おおとし防災の日」イベントを開催します。

昨年は、消防車両からの放水体験や消防機庫での宝探しをしながら、身近な防災についてのクイズに答えていく「防災クイズ」を実施しました。

今年も地域の防災意識の醸成と防災力の向上を目的に、「7.21おおとし防災の日イベント」を実施します。

今年は、「親子防災教室」として、より身近な家庭でできる災害対策等について学んでいただこうと考えています。

ぜひ、ご参加ください。

昨年のイベントの様子



■慰霊祭が行われました

4月18日(月)大歳地域交流センターで、ご遺族をお招きし、慰霊祭(無宗教方式)を執り行いました。吉富自治振興会会長と藤村大歳地区遺族会会長のお二人が戦没者の緒霊に追悼の言葉を捧げられました。ご遺族の代表の方による献茶・献水が行われ、最後に出席者全員で献花をし、終了いたしました。



献茶

献花



慰霊祭の様子

大歳歴史の散歩道 Vol.18

吉富簡一が矢原將軍として世に知られるようになるのは、明治12年に開かれた県議会で簡一が県会議長となってからです。以後「三尊(伊藤博文・山縣有朋・井上馨)四將軍(吉富簡一ら歴代議長)」は中央と地方の長州閥の中心人物を指すこととなります。

明治9年、山口に帰った簡一を待っていたのは、農民と土族の不満が爆発しつつある時代でした。しかも西南戦争後の自由民権運動は民主主義の推進を標榜しており、これが農民の不満と結びつけば、明治藩閥政権を突き崩しかねない状況を生み出します。

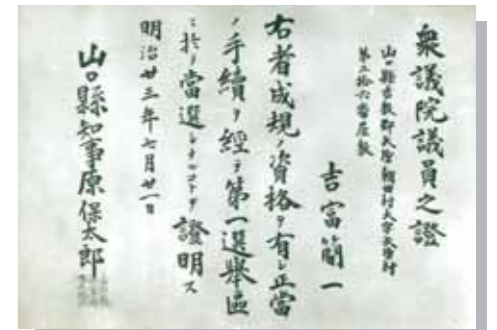
簡一は農民の不満の身近な要因である県政を批判しながらも「開化が不十分なための不満」は政府の施策の進展によって解決するという政府擁護の両面作戦をとります。こうして簡一は明治13年防長協同会社の社長を兼ねます。防長協同会社は、地租を納めるすべての農民を社員とし、選挙で社員総代を決めたため、制限選挙による県議会と相対する普通選挙によるもう一つの議会の様相を呈します。簡一は明治15年

吉富簡一 その4

矢原將軍と呼ばれて

協同会社社長を辞任します。彼の会社運営が富裕層の利益に偏りすぎているとの批判を受けたためです。簡一はこの協同会社と自由民権運動の結合をおそれ、大隈重信の立憲改進黨の綱領をまねながら、政府支持を行動規範とする「鴻城立憲政党」を立ち上げます。これによって、協同会社を解散させ、県内の自由民権運動は大きな広がりを持たないまま退潮期を迎えてしまいます。

洋服をパリッと着こなした簡一はハイカラで開化派の人物でした。自由民権派に対抗した戦術は將軍の名に恥じぬものでしたが、戦略的先進性には欠けていました。そのため国会開設とともに選出された衆議院議員としては、さしたる活躍もせず終わります。



第一回衆議院議員当選証書

大歳自治振興会 総会開催

4月18日(月)大歳地域交流センターで、平成28年度大歳自治振興会の総会を開催しました。議題であった、平成27年度の事業、決算、平成28年度事業計画案、予算案全てが賛成多数で承認されました。なお、会長は吉富滋浩、副会長に自治会長会会長の水岡隆廣、大歳地区社会福祉協議会会長の野々村壽代が引き続きつとめてまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、大歳自治振興会では地域づくり活動を行う部会や委員会を設置し、地域の皆様のご協力を頂き各種事業や行事を推進してまいります。



平成27年度 事業実績・決算

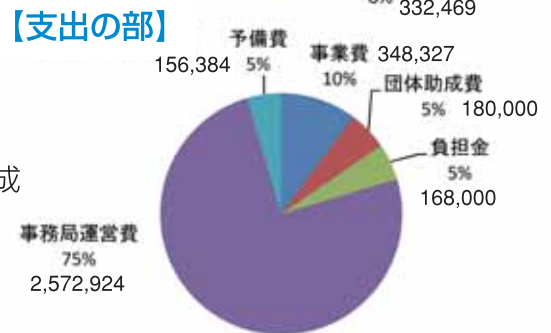
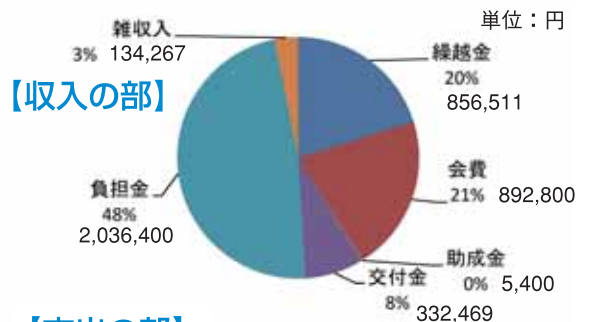
【自主財源】

収入の部 (総額：4,257,847円)

会 費：自治会員会費
負 担 金：地区社会福祉協議会、
活動推進委員会等人件費負担金

支出の部 (総額：3,425,635円)

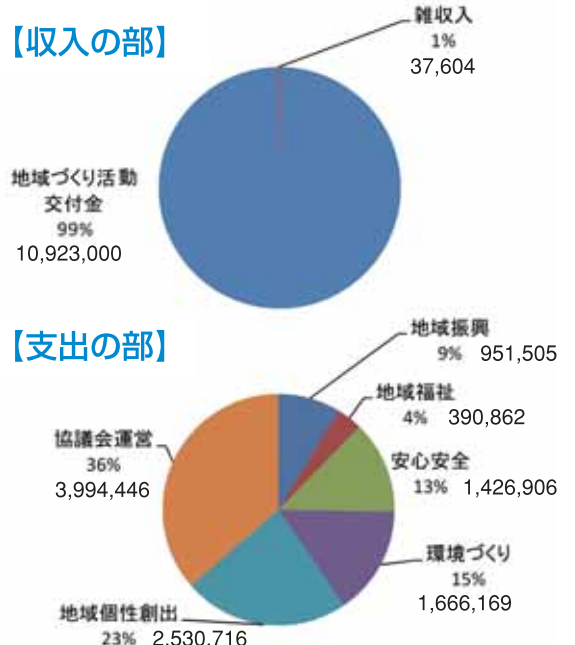
事 業 費：戦没者慰霊祭の実施や
草刈り隊による道路維持事業の実施
団体助成費：青少年健全育成活動や女性部会活動への助成
負 担 金：特別林野区への負担金等
事務局運営費：住民便覧作成、事務局員人件費等



【地域づくり活動交付金財源】

支出の部 (総額：10,960,604円)

地 域 振 興：かわら版の発行、
協育ネットカレンダー作成支援等
地 域 福 祉：高齢世帯への防災グッズ配布等
安 心 安 全：防犯灯設置補助、防災資機材購入支援、
ワンワンパトロールジャンパー購入等
環境づくり：法定外公共物等整備事業補助、
幸福神社設置等
地域個性創出：夏まつり、大歳まつりの実施、
1自治会1事業実施支援等
協議会運営：事務局員人件費、会議費等



平成28年度 事業計画・予算

【自主財源】

収入の部 (予算額：4,064,000円)

会 費：自治会員会費

負 担 金：地区社会福祉協議会、
活動推進委員会等人件費負担金

支出の部 (予算額：4,064,000円)

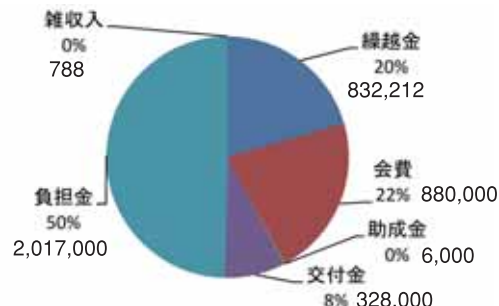
事 業 費：体育祭や戦没者慰霊祭の実施及び
草刈り隊による道路維持事業の実施

団体助成費：青少年健全育成活動や女性部会活動及び
交通安全対策協議会活動への助成

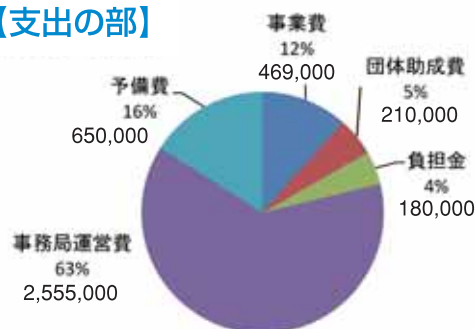
負 担 金：特別林野区への負担金等

事務局運営費：住民便覧作成、事務局員人件費等

【収入の部】



【支出の部】



【地域づくり活動交付金財源】

支出の部 (予算額：11,572,000円)

□地域振興分野 (予算額：1,065,000円)

- ・「まちづくりかわら版おとし」の発行
- ・ホームページの充実
- ・マナーアップ運動推進
- ・あいさつ運動啓発チラシの配布

□地域福祉分野 (予算額：480,000円)

- ・「安心カード」の更新
- ・ふれあいサロンの立ち上げ支援
- ・高齢者生きがいセンター検討委員会の開催
- ・親子参加によるイベント開催
- ・子ども会の立ち上げの支援

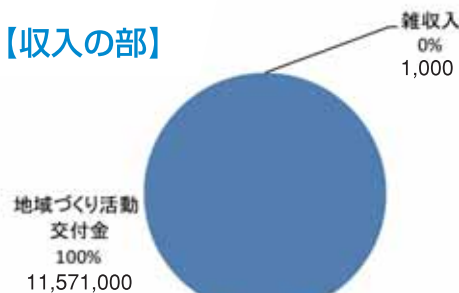
□安心・安全分野 (予算額：1,067,000円)

- ・わんわんパトロール、防犯パトロールの実施
- ・生活安全セミナーの開催
- ・新入学児童対象の交通安全教室を開催
- ・高齢ドライバー1日ドック講習会の開催
- ・防犯灯・反射鏡の設置助成
- ・「7・21おとし防災の日」イベントの実施

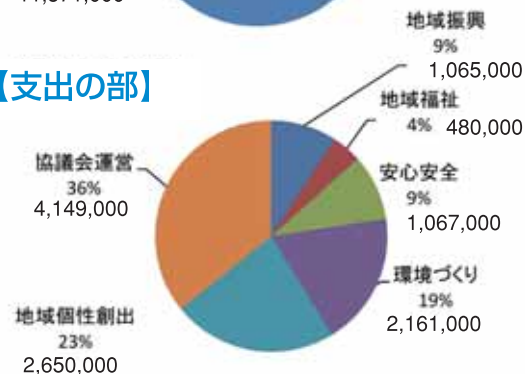
□環境づくり分野 (予算額：2,161,000円)

- ・環境美化活動の推進
- ・ゴミだしマナーアップのチラシ作成
- ・大歳地区一斉清掃の実施等
- ・法定外公共物(道路・水路)の整備支援

【収入の部】



【支出の部】



□地域個性創出分野 (予算額：2,650,000円)

- ・1自治会1事業の推進
- ・夏休みラジオ体操実施支援
- ・体育祭・おとし夏まつり・大歳まつりの開催
- ・花づくり講習会、花壇コンクールの実施
- ・交流列車おとしまつりの開催

□協議会運営 (予算額：4,149,000円)

- ・事務局員人件費、会議費等